

平成26年12月25日  
東日本高速道路株式会社

## 常磐自動車道の全線開通について

NEXCO東日本(東京都千代田区)は、常磐自動車道 常磐富岡インターチェンジ(IC)～浪江IC間について、開通する運びとなりましたので、お知らせします。

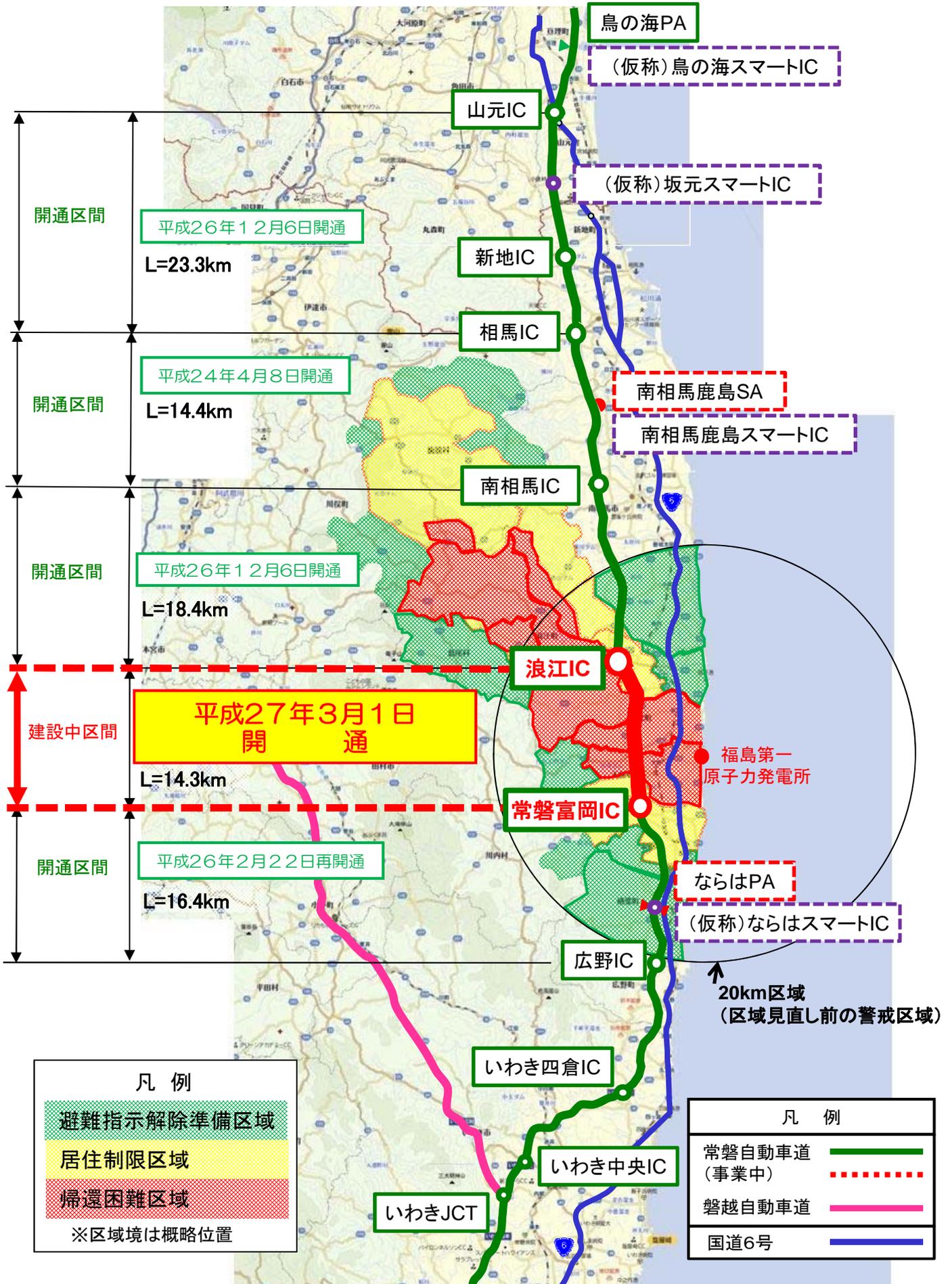
これにより、常磐自動車道は全線開通することとなります。

### ■開通区間および開通日

1. 開通区間 常磐自動車道 常磐富岡IC～浪江IC (延長14.3km)
2. 開通日 平成27年3月1日(日)
3. 今後の予定  
開通時刻、開通セレモニー、報道関係者様への開通前の現場公開などの詳細につきましては改めてお知らせします。  
また、常磐道に建設中のサービスエリア・パーキングエリアの開業日につきましても、改めてお知らせします。

# 常磐自動車道 位置図

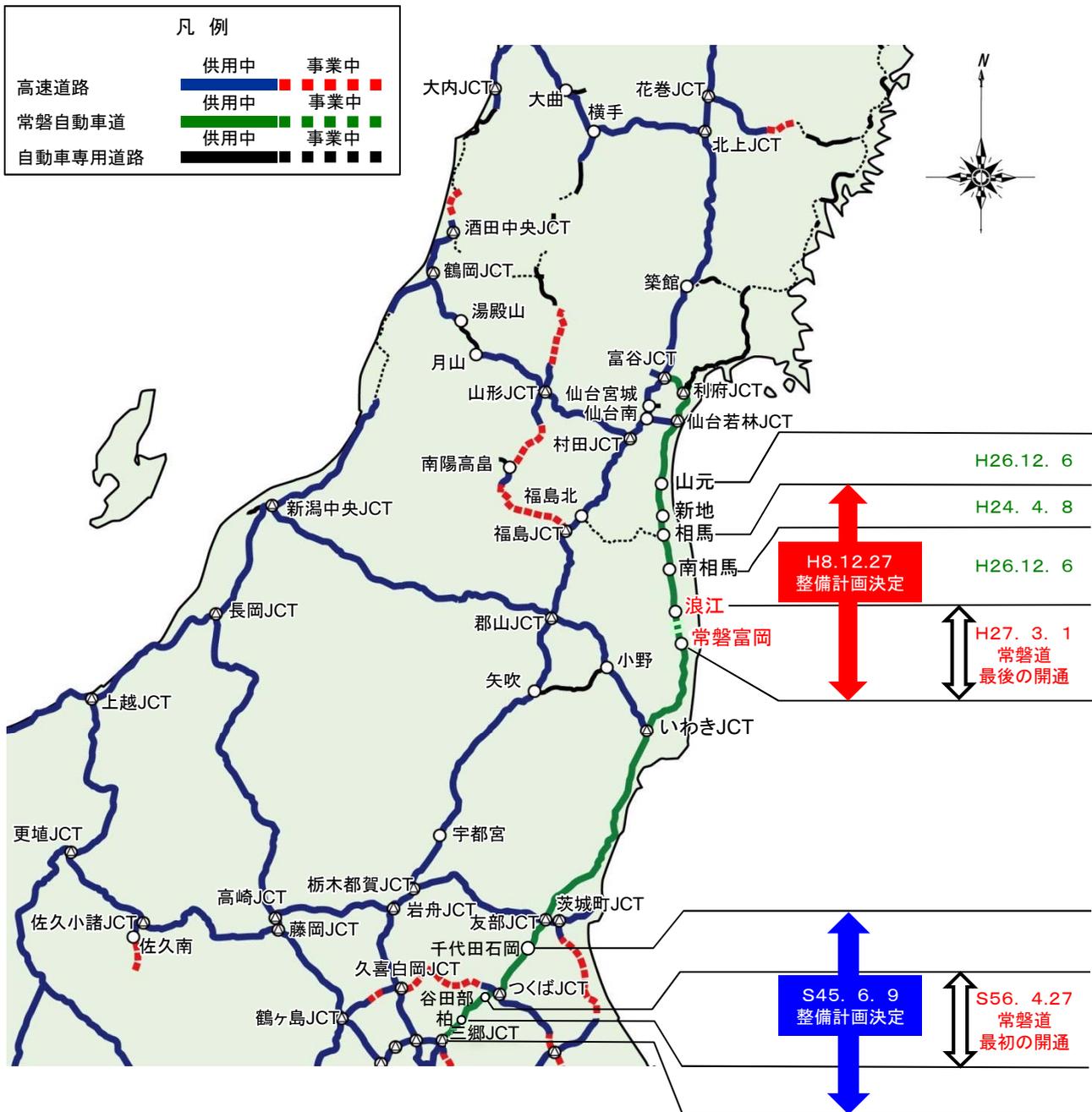
NEXCO



# 昭和41年の予定路線決定から49年、待望の道路が全線開通

NEXCO

- 昭和41年に東京～いわきの予定路線を決定
- 昭和45年に三郷～千代田の整備計画を決定
- 昭和56年に柏～谷田部が常磐道初開通
- 昭和62年いわき～仙台間予定路線に決定
- 平成27年3月1日常磐富岡～浪江間（14.3km）開通（全線開通）



※巨理～富谷JCT間は自動車専用道路活用区間

# 今回の開通区間の状況

NEXCO



常磐富岡 I C付近



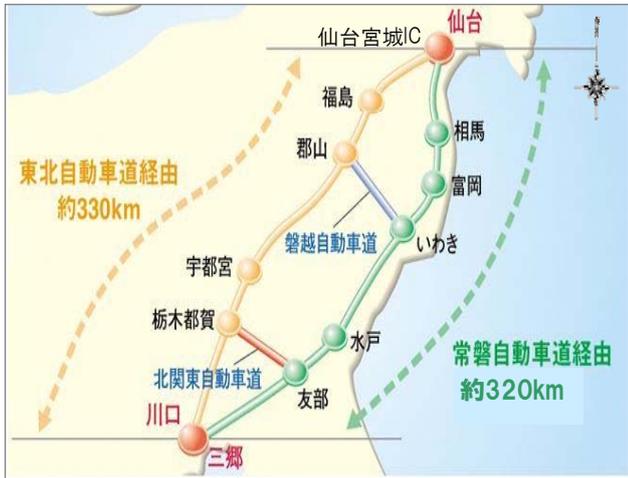
はぐろがわ  
羽黒川橋



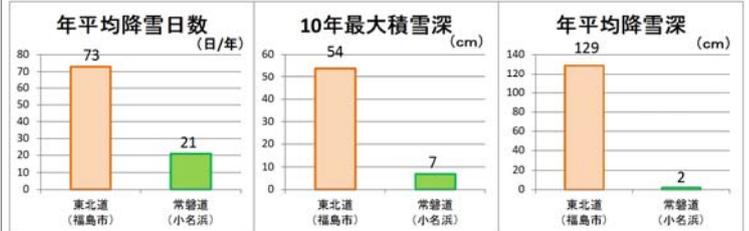
舗装工事状況

# 東北道とのダブルネットワーク完成で事故・災害・異常気象時の代替ルートを確保

- 首都圏と仙台圏を結ぶ常磐道と東北道の距離はほぼ等距離
- 東北道、磐越道、北関東道とともにラダー型ダブルネットワークを形成
- 常磐道は東北道に比べ降雪が少なく、冬期間の安定的な交通確保が可能
- 東北道の事故・災害・異常気象発生時には、磐越道とともに代替ルートとして確保



▼東北道(福島市)常磐道(いわき市小名浜)の降雪状況の比較



東北道の除雪状況

# 移動時間が大幅に短縮、地域経済の発展に大きく貢献

- 常磐道の全線開通により、仙台～いわき間が32分短縮  
(常磐富岡IC～山元IC間を国道6号で通行した場合との比較)
- 震災以降、長期間にわたり福島県浜通りの通行は内陸部への迂回を余儀なくされていたところ、全線開通により相馬～いわき間が1時間2分短縮(磐越道 船引三春IC～相馬IC間を国道349号・国道115号で迂回した場合との比較)

① いわき～仙台間の時間短縮  
(常磐富岡IC～山元IC間を国道6号で通行した場合との比較)



② いわき～相馬間の時間短縮  
(内陸部への迂回した場合との比較)

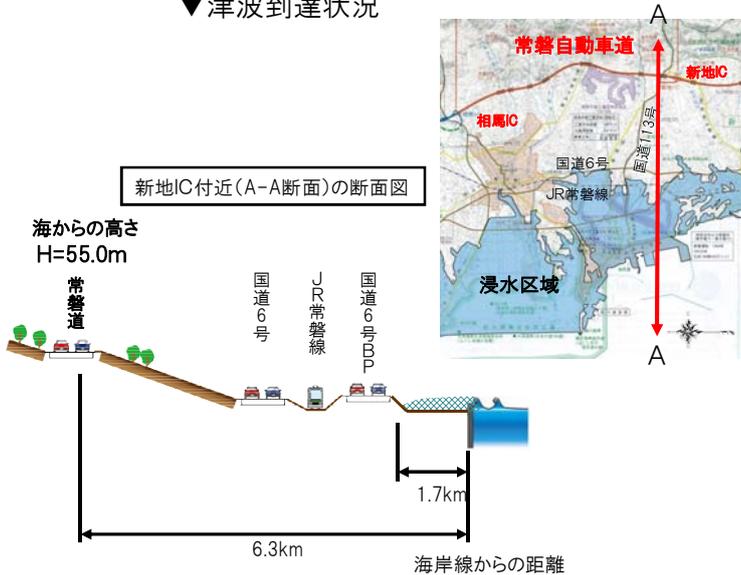


※移動時間の算出方法：一般道はルート検索ソフトによる検索結果(平日12時出発で算出)。高速道路は、規制速度で走行した場合の移動時間の合算。

# 津波被害のない高台を通過、被災時の『命の道』が完成

- 東日本大震災による津波は、JRや国道6号バイパス付近に到達
- 津波浸水区域よりも高台を通過する常磐道は緊急時の「命の道」としての機能に期待
- 国道6号とともに福島県浜通りの交通路として復興事業への寄与が期待されます

▼津波到達状況



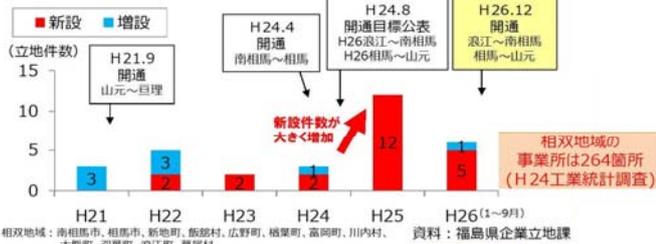
▼JR常磐線の運転見合わせ区間



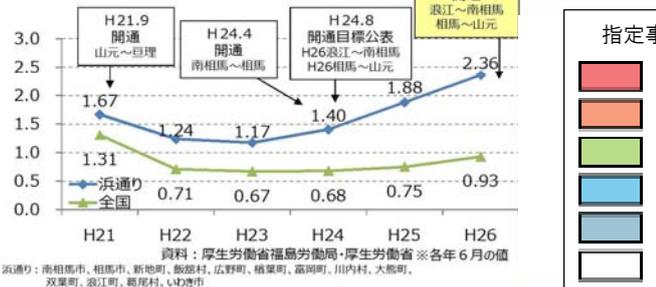
# 相双地域の振興への期待

- 相双地域では常磐道開通を踏まえ近年にない企業立地の動きが加速
- 高校卒業者の有効求人倍率は全国平均の約2.5倍
- 復興推進事業の更なる加速に期待

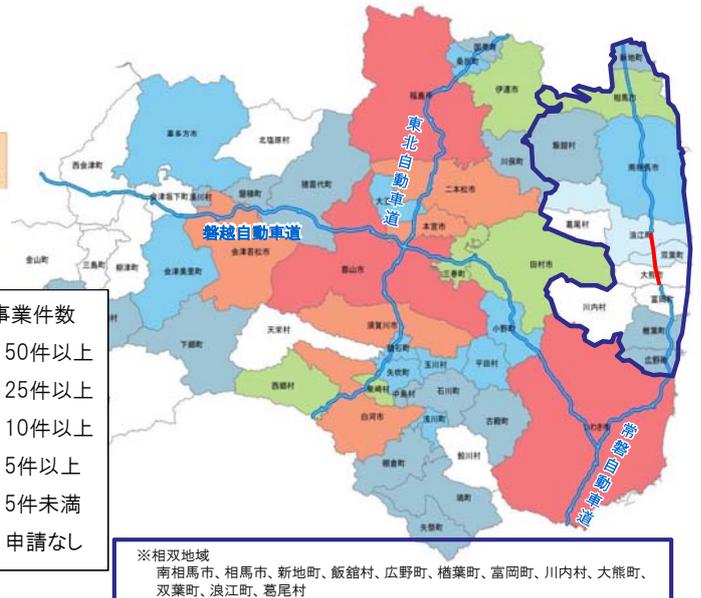
▼相双地域の工場増新設件数の推移



▼新規高等学校卒業生 有効求人倍率



▼ふくしま産業復興投資促進特区の自治体ごとの指定事業件数の状況



# 観光振興による地域活性化に期待

NEXCO

- 常磐道が開通することにより周辺観光地への利便性が向上し観光・交流が活発化
- 点から面的な観光ネットワークの形成に期待



## 常磐富岡IC～浪江IC間では、のり面等の損傷箇所は約140箇所

- 帰還困難区域では、立ち入りが制限されたため、雨水等による損傷が拡大

▼ 盛土の復旧 (写真: 常磐富岡ICから浪江IC方向へ約10km付近・浪江町内)



▼ 盛土の復旧 (写真: 常磐富岡ICから浪江IC方向へ約8km付近・双葉町内)



## 天候に左右されない現場環境による工事工程の確保



- 橋梁の生コン打設日を生コン工場とあらかじめ調整し固定したほか、降雨による床版コンクリート打設延期を回避するため、エアドームを導入

羽黒川橋（橋長523m）エアドームでの施工状況



## 舗装工程の安定性確保及び柔軟な出荷体制の構築により工程を促進



- 舗装工事に使用する砕石について、近傍の砕石場からの安定供給が困難な状況であったことから仮置場を増設し、遠方の砕石場とあわせて必要量を確保
- 工程短縮のため通常は1基の仮設アスファルトプラントを更に1基増設し出荷体制を強化

砕石仮置き場の増設



仮設アスファルトプラントの増設



# 工事運営・放射線被ばく線量管理の徹底による作業体制の確保

■地元の皆様や作業に従事された方のご理解・ご協力により、作業時間を拡大、人員を確保

- ① 作業員の意識及び行動の徹底・一目で識別できる作業服により、地元の皆様のご理解を頂く
- ② 線量管理・休憩施設を設置し、被ばく線量管理を徹底したほか、労働環境改善に努力

① 識別しやすい作業服の採用



② 線量管理・休憩施設での線量管理・労働環境改善



線量管理・休憩施設

